

新型コロナ対策・CCUS 仕事と生活の相談は 神奈川土建の各支部へ



神奈川土建一般労働組合機関紙
神奈川土建ホームページ 神奈川土建 検索

発行所
神奈川土建一般労働組合
〒221-0045 横浜市神奈川区
神奈川2-19-3
建設プラザかながわ
☎045(453)9806(代表)
発行人 西川 智幸
編集人 佐藤 学
定価60円
(神奈川土建の組合費には上記紙代を含む)

コロナ禍を乗り越える 組織建設・仲間づくりを

第50回定期大会を開催



運動の前進を誓い合った神奈川土建第50回定期大会

神奈川土建は、5月9日、大磯町の大磯プリンスホテルで第50回定期大会を開催しました。コロナ禍を仲間と一緒に乗り越え、さまざまな前進を勝ち取った昨年度の運動を総括し、活発な討論の中で新年度の運動方針を決定しました。

新型コロナウイルス感染防止に十分注意し、神奈川県ガイドラインに基づき、最大収容人数の上限を厳守して開催された第50回定期大会は、議長団に宮原一世さん(横浜鶴見)、青木貞幸さん(西相)を選出し、大会諸役員を承認して始めました。組合を代表してあいさつに立った益田修次執行委員長は、「13年闘ってきた建設アスベスト訴訟の最高裁判決が来週出ます。勝訴の判決は確実ですが、私たちが望むのは補償基金制度を国に作らせることです。共に最後まで闘い抜き実現させたい」「コロナ禍以後、組合として何ができるのか、情報を共有しながら、組合員の意見をしっかりと本部に集中していただき、方針をつくり、運動を進めたい」と訴えました。

今井賢治書記長の基調議案提案では、①コロナ禍を仲間と共に乗り越えるために、建設労働者の組合の本領を発揮できる組織づくりを実践する第50回定期大会の基調。②持続可能な社会と共存できない新自由主義の限界を見極め、市民と野党の共闘で総選挙を闘い、政権交代で要求実現を。③群会議を中心に据えて、コロナ禍を乗り越える要求運動に邁進し、組合の活動に参加する仲間を育てられる組織をめざす新年度の重点運動方針案が報告提案されました。

続いて高橋豊財政部長から決算および予算案の提案がありました。

各提案、報告にたいする質疑・討論が行われ、執行部を代表し、今井書記長が答弁しました。全体会終了後、6の分科会にわかれて討論し、方針を深めました(2・3面に掲載)。

再開した全体会では、分科会報告が行われ、諸議案への質疑・応答の後、討論のまとめを今井書記長が行い、「全体会では、7支部から13項目の発言があり、活発な討議につながった。新年度の中央執行委員会の討議にも生かしていきたい」「今年度は総選挙を含め県内でも様々な選挙がある。みんなで政治を選びに行き、要求を実現できるチャンスの年になる。中央執行委員会でも支部執行委員会でも分会・群でも様々な意見を出し合っ、みんなで練り上げた方針で、建設労働者の幸せをつかみに行こう」と、まとめました。

続いて、「基調議案」、「第49年度決算及び第50年度予算案」、「会計監査」、「分科会報告」、「討論のまとめ」を含めての一括採択、大会スローガンの提案・採択が行われました。その後、大会表彰が行われ、第50年度中央役員選出(4面に掲載)、新中央執行委員長あいさつ、退任役員表彰、第50回定期大会宣言の提案と採択と続き、最後に、横田副委員長の閉会あいさつと、荒井副委員長のガンバロー三唱で閉会しました。

【厚木支部 石井 直喜】
春の拡大月間が終わると、分会総会、定期大会と大忙しですね。私は岩手県の実家で田植えの手伝いをしているところ。今年ほど恒例行事になっていません。子どもは、この家で自らの庭で種まきをして苗を育て、家族総出で行っていました。現在、田植え機は国からの補助金もあり集落で共同購入し、協力して田植えをしています。田んぼの作業が始まると、田んぼへの出入り時や積載時の横転事故で毎年死亡者が出るなど、農機具での事故が増えるので小型特殊や大型特殊、けん引の免許を持つていないかという警察の取り締まりが厳しくなっています。何より公道の走行には免許が必要なので、自動車学校に通っている人増えているそうです。「田舎だから大丈夫」というわけではないので、トラクターや田植え機の値段は、ハイエースが何台も買ってしまうくらい。無免許で事故を起こし、壊してしまう事を考えると、きちんと知識をつけて免許を取って安全に使用する方が安心かも。今年「最新式の田植え機で植えるぞ」と意気込んでいたのですが、妻の出産予定日が近いので帰省は断念しました。9月の収穫時期には実家の母に孫の顔を見せたいです。コロナ禍で組合でも集まるのが少なくなりましたが、今年も新米を主婦の会の炊き出し力に支え、仲間と一緒に食べたいです。

建設 アスベスト訴訟 歴史的成果

「勝利」、失われた命、道なかば 「ようやくここまで来た」



最高裁前で勝訴の判決を知らせる弁護団

5月17日、最高裁第1小法廷は、国とアスベスト建材メーカーに対して賠償責任を認める判決を言い渡しました。神奈川・東京・大阪・京都の4つの1陣について、統一して一人親方・中小事業主を含め、国と建材メーカーの責任が確定しました。

国が1975年から2004年までの間、適切なアスベストばく露防止策を怠ったこと。また、すべての石綿建材メーカーがその危険性を作業者に警告する義務があり、一定の市場シェアを持つメーカーについては被害への関与が相当程度認められることから、連帯して被害者に賠償する必要があると最高裁判所は判断しています。さらに一人親方・中小事業主に

「まずは本当にホッとしています。ようやくここまで来ました。支援していただいた組合、弁護団の皆さん、そして励ましながら個々まで来た原告団のなかとともに喜びを分かち合いたいと思います。」と望月道子2陣原告団長は喜びを語ってくれました。「でも……」今回の判決での「誤判」とも言える不当な判断に、望月さんは表情を曇らせました。判決は屋根・板金工など屋外で働いていた仲間について、屋外労働においても危険性は作業していた当時はまだ確認されていたにもかかわらず、



原告に謝罪する菅首相(左から2番目)

判決翌日、5月18日に首相官邸で原告・弁護団は菅総理大臣と面会。総理は「責任を痛感して心よりお詫び申し上げます」と謝罪の言葉を述べ、原告代表に謝罪するとともに今後国として給付金制度の創設に向けて取り組むことを表明しました。さらに原告団・弁護団・建設アスベスト訴訟全国連絡会は田村厚生労働大臣との間で、全国での統一和解と未提訴被害者への給付金制度創設などを盛り込んだ「基本合意書」に調印。わたしたちの求める基金制度に大きな一歩を踏み出しています。ニチアスやA&Aマテリアルといった建材メーカーは、個別の訴訟での対応を躊躇する構えを崩していません。神奈川1陣原告74人中61人が命を奪われている、こんな訴訟による対応を続けさせてはいけません。判決と国との基本合意に基づく制度創設を力に未提訴被害者を含めた完全な補償を、建材メーカーも含めて早期に実現できるように取り組みを強める必要があります。

がアスベストによって奪われてきました。全国各地に広がる被害者は1万人を超えると言われていました。

「まずは本当にホッとしています。ようやくここまで来ました。支援していただいた組合、弁護団の皆さん、そして励ましながら個々まで来た原告団のなかとともに喜びを分かち合いたいと思います。」と望月道子2陣原告団長は喜びを語ってくれました。「でも……」今回の判決での「誤判」とも言える不当な判断に、望月さんは表情を曇らせました。判決は屋根・板金工など屋外で働いていた仲間について、屋外労働においても危険性は作業していた当時はまだ確認されていたにもかかわらず、

どとして、救済されませんでした。「すべての被害者が笑顔にならなくては、まだこのままでは道なかばですよ」と原告団長として決意を新たにしていました。

【大安吉日】
春の拡大月間が終わると、分会総会、定期大会と大忙しですね。私は岩手県の実家で田植えの手伝いをしているところ。今年ほど恒例行事になっていません。子どもは、この家で自らの庭で種まきをして苗を育て、家族総出で行っていました。現在、田植え機は国からの補助金もあり集落で共同購入し、協力して田植えをしています。田んぼの作業が始まると、田んぼへの出入り時や積載時の横転事故で毎年死亡者が出るなど、農機具での事故が増えるので小型特殊や大型特殊、けん引の免許を持つていないかという警察の取り締まりが厳しくなっています。何より公道の走行には免許が必要なので、自動車学校に通っている人増えているそうです。「田舎だから大丈夫」というわけではないので、トラクターや田植え機の値段は、ハイエースが何台も買ってしまうくらい。無免許で事故を起こし、壊してしまう事を考えると、きちんと知識をつけて免許を取って安全に使用する方が安心かも。今年「最新式の田植え機で植えるぞ」と意気込んでいたのですが、妻の出産予定日が近いので帰省は断念しました。9月の収穫時期には実家の母に孫の顔を見せたいです。コロナ禍で組合でも集まるのが少なくなりましたが、今年も新米を主婦の会の炊き出し力に支え、仲間と一緒に食べたいです。

コロナ禍を仲間と一緒に乗り越えよう!

6分科会で運動方針を討議

第50回定期大会 主な分科会報告と方針

第1分科会 組織・後継者対策

群組織の強化で仲間の声に即応できる元気な組織建設を

議長・加賀智之さん 大日向直さん



大日向直さん (川崎)

第一合同分科会では、「困難なときこそ組合の出番!!」機関の強化と組織拡大で仲間の声に即応できる安定的3万の組織を建設しよう」をメインテーマに活発な討議が交わされました。コロナ禍における経済不安が仲間の営業と暮らしに悪影響

をおよぼす中、群・分会における日常的な世話焼き・相談活動の重要性がこれまで以上に重要となつていきます。参加代議員からは、「仲間から難しい相談が寄せられた時に事務所に丸投げするのはなく、『大丈夫。俺が話を通しておくから』と書記宛に相談にいらつてごらん!」と橋渡しをするだけでも仲間との信頼関係は格段に深まる。や「持続化給付金でお世話になった。何か手伝える

第1分科会 財政

群会議納入の徹底で要求実現・財政基盤確立へ

議長・岡元秀隆さん



安心して群会議に出席できる

組織納入について年間納率は、97・32%でした。コロナウイルス感染対策を徹底し、集会形式をとらない簡易対応や釣銭の出ないように準備していたり、過去の協力をしてもらい、過去最高の納入率となりました。仲間の要求実現は、労働組合として大衆を組織し多くの仲間を結集し活動をすすめる以外に方法はありません。群に属さない直納組合員、群に属しているが常に群会議に参加していない組合員、また、いくつか



退任のあいさつをする中西龍夫さん

退任された中央役員 お疲れさまでした

【書記次長】

内堀 雅子(川崎西)

【常任中央執行委員】

中西 龍夫(南横浜)

【中央執行委員】

須藤 洋二(横浜戸塚)

松原 謙三(川崎)

添田 雅幸(川崎中央)

大槻 秀伸(横須賀三浦)

佐々木 誠(厚木)

原 良雄(相模原)

眞喜志康正(鎌倉逗子葉山)

第2分科会 賃金

建設技能者の処遇を改善し 若者が入職をめざす建設産業へ

議長・小宮信太朗さん



小宮信太朗さん (川崎中央)

賃金対策分科会は、現在の賃金・単価改善運動と現場改善運動、CCUUSについて討議、意見交流を行いました。出された主な意見・報告は、「公契約現場への現場訪問の際に、所長が条例に定められた賃金下限額を支払えないという

回答があった」、「CCU Sカードが無いと入場できない現場が出てきている。現在カード発行まで時間がかかっている。カード発行期間について改善してほしい」、「コロナ禍で発注単価が下がっているが、単価が下がったときに重大な事故が起きている」、「マスクをして作業をしている。自社はマスクをしているので1時間おきに休憩をとっている。苦しさがあり、熱中症の危険もあるの

で、この機会に工程を見直してほしい」と報告や意見が出されました。今後の大手企業交渉や自治体交渉などで改善を要求し、職種別交流会や学習会などで議論を深めていこうと話合いました。最後に、建設技能者の処遇を改善し、若者が入職を目指す建設産業にしていくことを目標に、新年度運動方針案を分科会全体で確認しました。

第2分科会 労働

一人親方問題で学習会開催を 最高裁判決後は基金の創設へ

議長・櫻庭源一さん



最高裁判決前でアピールした仲間たち

「単価が下がる中で重大事故が多発する傾向があるのではないか」という賃金対策部での意見をを受けて、昨年の大手ゼネコン現場での死亡災害事

故について触れ、安全衛生経費と適正工期の確保について強調した問題提起がなされました。偽装一人親方の問題や石綿建材の飛散対策、そして最高裁判決を迎える建設アスベスト訴訟と基金の創設に向けての取り組みなどが重点となります。偽装一人親方と言え

いよう、支援を求める訴えがありました。建設アスベスト訴訟について、「街頭宣伝など続ける中で、心が折れそうになった時もあるが、粘り強く続けたことで裁判所もこれだけ動いてきた。ひきつづきががんばろう」と呼びかけがありました。パワビルダーの元請責任・労働者供給事業の促進などについても発言があり、さらに一人親方問題や基金制度について学習会を開催していこうと話合われました。

第3分科会 住宅

コロナ禍の困難な活動を交流 地域建設産業を活性化させよう

議長・金野三夫さん



金野三夫さん (横浜西)

コロナ禍の中、各支部の住宅対策の取り組みが報告されました。住宅デーでは、「収益は医療従事者の支援」を掲げ地域から共感を得た(川崎)。手分けして1か月間で約1万枚のチラシを配布し、住宅相談も15件あった(川崎西)。身近な住宅相談の需要は確実に

あることが分かった(川崎中央と、地域住民から期待されていると報告。「住宅センター」は、10支部で設立され、宣伝など工夫して、受注できた経験が報告されました。自治体要求運動では、コロナ対応のための地方創生臨時交付金を財源に実施させた各種の「リフォーム助成制度」(相模原市・藤沢市・綾瀬市)が報告されました。災害時協定は、神奈川県との協定のほか、自治体と地元建設組合との締結、12

市1町でした。第44回住宅デーは、開催可能な活動範囲を探り、コロナ感染拡大防止対策を行い、統一開催日を10月17日(日)とし計画することを確認しました。コロナ禍で大きく変化している地域住民の暮らし方や価値観、住まいづくりの意向を正面から受け止め、仲間の進んだ経験に学び、コロナ禍だからこそその取り組みを展開していくことで一致し、運動を進めていくことにしました。

第3分科会 技術対策

未来の仲間を育てCCUSを「武器」に処遇改善・向上運動

議長・熊谷隆義さん

旧年度、コロナ拡大のなか少数ですが工作教室を子どもたちに届け、将来建設の仕事に携わりたいと建設産業への魅力と



興味を広げました。工作教室は「未来の仲間たち」を育て、地域貢献と、分会の結束と担い手を育てる運動としての意見交換を活発に行いました。

CCUSに多くの仲間の登録を目指し、支部が認定窓口移行、チラシの活用、登録税金の周知と、まさに組合を上げての登録促進運動を展開しました。

第4分科会 社会保障

社会保障拡充の国民運動を押し上げ 建設国保を守り発展させる運動を

議長・瀧澤孝行さん

「誰一人取り残さない」と全支部が仲間への呼びかけを広げ、神奈川の建



組合事務所で仲間とハガキ記入(大和支部)

設国保が実施した保険料の減免制度は全国一の規模で多くの仲間の仕事や

「誰一人取り残さない」設国保が実施した保険料の減免制度は全国一の規模で多くの仲間の仕事や

第4分科会 税金

消費税引き下げ・インボイス制度阻止を 民主的税制で、納税者の権利を守ろう

議長・菅原敏明さん



菅原敏明さん(横浜緑)

税金対策部分科会では、2023年10月から導入予定のインボイス制

によって新たに消費税を負担するようになると、「売上げ600万程度の一人親方などは食べていけない」と取引のある下請の半分は免税業者。個々によく相談しなければ」など、危機感をもつ報告がある反面、「決まったことは」仕方ない「これまで益税で得ていた」といった仲間の反応も多いことが報告されました。

座間税対部長から、分科会のもととして「税務調査対策として納税者権利の学習が重要」、「消費税率を5%下げると、昨年実施された「特別定額給付金(一人10万円)」に相当する効果がある。消費税率引き下げ運動と学習を強めることが大切だ」と補足があり、新年度の運動方針が示されました。

第5分科会 教育宣伝

機関紙中心の組合活動で要求実現リード 学習要綱を作成し計画的な学習活動を

議長・公文洋一さん



公文洋一さん(相模原)

コロナ禍で全国、全県の諸団体の機関紙が休止するなか、神奈川土建本部と全支部の機関紙は発行を守り、仲間を支援する情報を発信し続けまし

り組み、政府や自治体などの支援制度を紹介とし、活用する組合の姿を掲載、仲間を励ました経験を交流しました。

の組合活動で要求実現をリードしよう」と、本支部の機関紙活動の改善と強化をめざし、分会機関紙発行に力を入れると確認。ホームページとSNSの連携を強め、情報発信の強化をはかると確認しました。

第5分科会 平和運動

平和憲法を守る闘いの先頭に立とう 次世代に持続可能な世界を手渡そう

議長・横尾妙子さん



神奈川の平和の波行動

平和運動は、コロナ禍の影響から全国的な集会・イベントの相次ぐ中止、ネット開催への切り替えなどを余儀なくされ、支部でも地域運動自

されました。西相支部は、独自に取り組んできた8月の6・9行動が、昨年は全支部の取り組みになったと喜びを交えた報告があり、

練中止運動への参加、鎌倉逗子葉山支部から沖縄連帯の訴えなど、各支部の多彩な取り組みが報告されました。

厚木支部から福島原発事故視察ツアーの取り組み、横須賀三浦支部から「原子力空母母らない横須賀集会」の取り組み、大和支部からCBRN訓

大井平和運動委員長から、まとめとして「平和であるから建設職人は仕事ができる。改憲阻止を世論に働きかけていこう」と訴えがありました。

第6分科会 厚生文化

全世代の助け合いで持続可能な制度に 火災共済加入1%叩へ組織的に取りくもう

議長・福井一美さん



福井一美さん(横浜西)

組織討議を経て9月の中央執行委員会でも確認された団体生命・総合共済改定案について、代議員

「75歳未満も特別弔慰金の原資120円を負担するの」など意見が出た支部もありましたが、全世代の助け合いで持続可能な制度改定となつていくこと、共済型が4種類となり納入金額も変わる

五組合の共同事業、どけん火災・地震共済について、相模原支部から支部厚文部長が全分会執行委員会に出向いて訴え、目標を超過達成した昨秋の活動報告がありました。新年度は加入率を1%引き上げる支部・分会目標を早く提起し組織拡大とともに追求します。

50回定期大会 選出された 新中央執行委員

- 大野 良一(横浜)
高橋 守(横浜)
町田 正美(横浜緑)
本間 俊希(横浜緑)
齋藤 かをり(南横浜)
秋山 治仁(横浜西)
細矢 訓男(横浜西)
花松 里志(横浜中央)
山本 笑松(横浜中央)
熊谷 実(横浜戸塚)
高橋 知也(横浜戸塚)
熊谷 恵美子(横浜鶴見)
山本 久男(横浜鶴見)
村上 豊(川崎)
孫 建華(川崎)
瀧澤 孝行(川崎中央)
新倉 俊幸(川崎中央)

- 小川 信雄(川崎西)
嵯峨 秀良(横浜三浦)
花形 正時(横浜三浦)
山浦 克己(湘南)
甲斐 芳一(湘南)
小平 晃(大和)
尾関 真志(大和)
佐々木 誠(厚木)
佐久間 秀雄(相模原)
大澤 安廣(西相)
坪井 恵子(西相)
大原 広隆(平塚)
伊東 則政(平塚)
榎本 保人(座間海老名)
増田 勉(茅ヶ崎寒川)
眞喜志 康正(鎌倉茅子葉山)

メッセージ・祝電をお寄せいただいた 団体・個人のご紹介

2021年5月9日現在・順不同 団体名は敬称を略して掲載

【労働組合】
全国建設労働組合総連合／東京土建一般労働組合／埼玉土建一般労働組合／千葉土建一般労働組合／全京都建築労働組合／田川建設労働組合／福岡県建設労働組合／熊本県建築労働組合／横浜建設一般労働組合／神奈川県建設連合国民健康保険組合／川崎建設労働組合連合会／建設労連湘北地区協議会／横浜市建設労働組合連合会／建設労連湘南地区協議会／秋田建築労働組合／東播建設労働組合／岡山県建設労働組合／建設埼玉／鳥取県建築連合会／全愛知建設労組／愛媛県建設労働組合／山形県建設労働組合連合会／奈良県建築労働組合／全建総連岐阜建設労働組合／宮崎県建設産業労働組合／広島県建設労働組合／山梨県建設組合連合会／香川県建設労働組合／高知県建設労働組合／佐賀県建設労働組合連合会／全建総連北海道建設労働組合連合会／建設山口／島根県建築組合連合会／長野県建設労働組合連合会／兵庫県建設労働組合連合会／茨城県建築連合会／岩手県建設労働組合連合会／全建総連静岡県建設労組／群馬県建築業組合連合会／大分県建設合同労働組合／建設長崎(長崎県建設産業労働組合)／三重県建設労働組合／全建総連東京都連合会／徳島県建設労働組合／フレッセ／一般社団法人アーキテクトン奈良／福島県建設労働組合連合会／愛知県建築組合連合会／和歌山建設労働組合／新潟県建設ユニオン

【市町村長】
綾瀬市長 古塩正由様／伊勢原市長 高山松太郎様／横浜市長 上地克明様／神奈川県知事 黒岩裕治様／茅ヶ崎市長 佐藤光様／厚木市長 小林常良様／三浦市長 吉田英男様／秦野市長 高橋昌和様／逗子市長 桐ヶ谷覚様／川崎市長 福田紀彦様／相模原市長 本村賢太郎様／真鶴町長 松本一彦様／湯河原町長 富田幸宏様／箱根町長 勝保浩行様／開成町長 府川裕一様／大和市長 大木哲様／大磯町長 中崎久雄様／藤沢市長 鈴木恒夫様／南足柄市長 加藤修平様／海老名市長 内野優様／寒川町長 木村俊雄様／小田原市長 守屋輝彦様／座間市長 佐藤弥斗様

【政党・会派】
日本共産党神奈川県議会議員団／日本共産党南関東ブロック

【団体・企業】 神奈川土建顧問 白田宏記様／神奈川県労働組合総連合／NPO建設政策研究所／税理士法人 町田税経センター／公益財団法人 社会医学研究センター／神奈川県社会保障推進協議会／神奈川県民主医療機関連連会／横浜合同法律事務所／安破破棄・諸要求実現神奈川県統一促進会議／原水爆禁止神奈川協議会／神奈川県平和委員会／働く者のいのちと健康を守る神奈川センター／消費税をなくす神奈川の会／神奈川県生活協同組合連合会／神奈川県労働者学習協会／全日本年金者組合神奈川本部／神奈川県公団住宅自治会協議会／横浜市従業員労働組合／建設関係労働組合首都圏共闘会議／日本自治体労働組合総連合神奈川本部／NPO神奈川総研／国土交通労働組合／神奈川県商工団体連合会／損害保険ジャパン株式会社 横浜中央支店／こくみん共済COOP神奈川推進本部／関東自動車共済神奈川県支部／㈱あかつき印刷／中央労働金庫横浜支店／日本電波ニュース社／神奈川プランニング有限会社

- 益田 修次(川崎中央)
【中央執行委員長】
荒井 俊喜(横浜中央)
小森 邦男(川崎中央)
横田 和彦(川崎)
座間 恵一(相模原)

- 【中央執行委員】
後藤 満夫(横浜緑)
佐藤 友二(横浜)
田辺 昭夫(横浜)
武藤 義則(横浜)
後藤 五男(横浜緑)

- 【書記長】
今井 賢治(南横浜)
【書記次長】
古溝 潤(横浜中央)
天野 武(川崎中央)
榊原あゆみ(座間海老名)
井上 真一(横浜三浦)
【常任中央執行委員】
亀海 広光(横浜西)
大井 茂(横浜三浦)
赤岩 健也(相模原)
佐々木良春(座間海老名)
西川 智幸(横浜三浦)
高橋 豊(横浜戸塚)
武藤 秀人(湘南)
田島 士朗(座間海老名)
後藤 満夫(横浜緑)
青年部部長



表彰された仲間

- 岩田 照幸(横浜中央)
平田 雅昭(横浜戸塚)
飯田 知己(横浜戸塚)
北川 康介(横浜戸塚)
角田 政三(横浜鶴見)
島袋レベクトル(横浜鶴見)
田中 富夫(横浜鶴見)
野村 澄夫(川崎)
大熊 善信(川崎)
有賀 茂一(川崎)
小林 秀朋(川崎中央)
志多伯 和彦(川崎中央)
西潟 真人(川崎中央)
齋藤 治(川崎西)
関 剛志(川崎西)
臺野 正彰(横浜三浦)
佐藤 剛滋(横浜三浦)
渋谷 修(横浜三浦)
小菅 浩幸(横浜三浦)
古澤 英順(湘南)
光島 二郎(湘南)
中山 佑介(湘南)
田本 和博(大和)

- 安積 孝郎(横浜緑)
奥村 道利(横浜緑)
菊地 隆(南横浜)
生田 耕一(南横浜)
西岡 正人(横浜西)
橋本 謙二(横浜西)
小島 潤(横浜西)
若林 実信(横浜中央)
富野 勝久(横浜中央)



熱心に討議参加した代議員

- 野田 稔(西相)
森下 清徳(西相)
武藤 尋晴(西相)
松本 武(平塚)
齋藤 弘平(平塚)
浅見 大行(平塚)
高橋 英樹(座間海老名)
梅沢 聡(座間海老名)
馬崎 章光(茅ヶ崎寒川)
高橋 英二(茅ヶ崎寒川)
石山 齊(茅ヶ崎寒川)
菅原 智和(鎌倉茅子葉山)
猿渡 宏志(鎌倉茅子葉山)
青年部書記長
- 【会計監査】
三田 善弘(横浜)
熊谷 恵美子(横浜鶴見)
堀川 文雄(横浜三浦)

技術センターだより 資格講習会のご案内

神奈川土建の指定講習

- 職長・安全衛生責任者教育-リスクアセスメント含む-
(受講料16,000円、休憩を除く14時間講習)
7月4日(日)～5日(月) 会場：建設プラザかながわ
- 石綿作業主任者技能講習
(受講料：10,000円、休憩を除く12時間講習)
7月24日(土)～25日(日) 会場：建設プラザかながわ
- 型枠支保工の組立て等作業主任者技能講習
(受講料：10,000円、休憩を除く14時間講習)
7月24日(土)～25日(日) 会場：建設プラザかながわ
- 有機溶剤作業主任者技能講習
(受講料：14,000円、休憩を除く13時間講習)
10月2日(土)～3日(日) 会場：西相支部
- 足場の組み立て等作業主任者技能講習
(受講料：10,000円、休憩を除く14時間講習)
10月17日(日)～18日(月) 会場：建設プラザかながわ
- 低圧電気取扱業務特別教育
(受講料：8,000円、休憩を除く8時間講習)
8月29日(日) 会場：建設プラザかながわ
- ロープ高所作業特別教育
(受講料：8,000円、休憩を除く7時間講習)
8月29日(日) 会場：建設プラザかながわ

- 職長能力向上教育
(受講料：8,000円、休憩を除く6時間講習)
9月26日(日) 会場：建設プラザかながわ

神奈川建設労連の講習

- ※支部を通じ神奈川県連に申込みして下さい
- 木材加工用機械作業主任者
9月15日(水)16日(木) 受講料10,000円
 - フルハーネス型安全带(墜落制止用器具)使用作業特別教育
9月22日(木) 受講料8,000円
 - 石綿使用建築物等解体等業務特別教育
7月2日(金) 受講料3,000円
 - 丸のこ等取扱い作業従事者教育
7月6日(火) 受講料6,000円
 - 玉掛け技能講習
7月14日(水)15日(木)18日(日)
9月7日(火)8日(水)12日(日) 受講料28,000円(資格保持者24,000円)
 - 小型車両系建設機械特別教育
7月20日(火)21日(水) 受講料18,000円

その他の提携講習機関
IHI技術教習所 コマツ教習所 PEO建機教習センター(旧：日立建機教習センター) エスアールエス相模教習センター 日建学院 総合資格学院 技術技能講習センター(New!) 等、詳細は各支部窓口にお問い合わせください。

●建築塗装技能検定受験予備講座中止に伴い下記の講習をご案内します。
令和3年度建築塗装技能検定を受検申請された方は公益社団法人 神奈川県塗装協会が開催する事前準備講習会(実技課題説明・実技講習・学科講習)のお知らせが届きます。ご希望される方はお申し込みください。※日時・場所等は届きましたお知らせをご覧ください。また、講習会の人数に制限がありますのでご注意ください。

申込み、問合せは所属支部事務所へ
☆写真2枚(縦3cm×横2.4cm)必要
☆公的機関の発行した身分証明書で氏名・住所・生年月日の確認をします
☆日程変更や中止になる場合もありますのでご注意ください
☆掲載した講習は、すべて青年部マル得援助金の対象です。
☆無断欠席、当日のキャンセルによる受講料の返還には応じかねます
※作業主任者講習、職長・安責教育、準備講座、JWCAD等には雇用保険・一人親方労災保険加入者は保険番号の記入と加入証のコピーの添付が必要です。